

新薬開発状況

(2017年7月現在)

前回の決算発表時(2017年4月27日)からの変更箇所を下線

がん領域 (1/2)

*共同研究により創出された化合物を含む。

開発コード 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階/地域	剤形	自社*/導入	備考
MDV3100 エンザルタミド	アンドロゲン受容体阻害剤	転移性去勢抵抗性前立腺がん(錠剤)	申請(2016年3月)/欧州	経口	Pfizer	剤形追加
		去勢抵抗性前立腺がん(錠剤)	申請(2016年9月)/日本			剤形追加
		非転移性去勢抵抗性前立腺がん	P-III/米国、欧州、アジア			効能追加
		非転移性生化学的再発前立腺がん	P-III/米国、欧州、アジア			効能追加
		転移性ホルモン感受性前立腺がん	P-III/米国、欧州、日本、アジア			効能追加
		肝細胞がん	P-II/米国、欧州、アジア			効能追加
ASP2215 ギルテリチニブ	FLT3/AXL阻害剤	急性骨髄性白血病	P-III/米国、欧州、日本、アジア	経口	自社	
ASP3550 デガレリクス	GnRH受容体アンタゴニスト	前立腺がん(3か月製剤)	P-III/日本	注射	Ferring	剤形追加
AGS-16C3F	ENPP3を標的とするADC	腎細胞がん	P-II/米国、欧州	注射	自社 (ADC技術をSeattle Genetics から導入)	
IMAB362	抗Claudin 18.2モノクローナル抗体	胃食道接合部腺がん	P-II/欧州	注射	自社 (Ganymed)	
ASG-22ME enfortumab vedotin	ネクチン4を標的とするADC	尿路上皮がん	P-II/米国 P-I/日本	注射	自社 [Seattle Geneticsと共同開発]	
AMG 103 ブリナツモマブ	抗CD19 BiTE抗体	急性リンパ性白血病	P-II/日本	注射	Amgen [アステラス・アムジェンと共同開発]	
ASG-15ME		尿路上皮がん	P-I	注射	自社 [Seattle Geneticsと共同開発]	

がん領域 (2/2)

*共同研究により創出された化合物を含む。

開発コード 一般名	薬効／作用機序	対象疾患	開発段階／地域	剤形	自社*／導入	備考
ASP4132		がん	P- I	経口	自社	
AGS67E		悪性リンパ腫	P- I	注射	自社 (ADC技術をSeattle Genetics から導入)	
AGS62P1		急性骨髄性白血病	P- I	注射	自社 (EuCODEを用いた ADC技術を Ambrxから導入)	

前回の決算発表時(2017年4月)からの変更点:

MDV3100 (エンザルタミド): 競合環境の変化、診断薬を追加的に開発する必要性、新たなPhase II 試験データ等に基づきファイザー社と協議し、総合的な判断により、乳がん (Phase II :ER/PR陽性、HER2陽性、Phase III :トリプルネガティブ) を対象疾患とした開発を中止した。

ASP8273 (ナコチニブ): 独立データモニタリング委員会の勧告を受け、患者さんのベネフィット・リスクを総合的に評価し、Phase III 段階にあった非小細胞肺がんを対象疾患とした開発を中止した。

ASP5878: Phase I 段階にあった、がんを対象疾患とした開発を中止した。

泌尿器及び腎疾患領域

*共同研究により創出された化合物を含む。

開発コード 一般名	薬効／作用機序	対象疾患	開発段階／地域	剤形	自社*／導入	備考
YM905 ソリフェナシン	ムスカリンM ₃ 受容体拮抗剤	小児の神経因性膀胱	申請(2017年2月)／米国 申請(2017年4月)／欧州	経口	自社	効能追加 (小児)
EB178 ソリフェナシン／ ミラベグロン	ソリフェナシンとミラベグロンの併用療法	尿意切迫感及び頻尿の症状を伴う過活動膀胱	申請(2017年6月)／米国	経口	自社	
ASP1517 (FG-4592) ロキサデュスタット	HIF安定化剤	慢性腎臓病(保存期及び透析期)に伴う貧血	P-III／欧州 P-III／日本	経口	FibroGen	
YM178 ミラベグロン	β ₃ 受容体作動薬	小児の神経因性膀胱	P-III／欧州	経口	自社	効能追加 (小児)
YM311 (FG-2216)	HIF安定化剤	腎性貧血	P-II／欧州 P-I／日本	経口	FibroGen	
ASP8232	VAP-1阻害剤	糖尿病性腎症	P-II／欧州	経口	自社	
ASP6294	神経成長因子中和抗体	膀胱痛症候群／間質性膀胱炎	P-II／欧州	注射	自社	
ASP6282		低活動膀胱	P-I	経口	自社	
ASP7398		夜間頻尿	P-I	経口	自社	
ASP8302		低活動膀胱	P-I	経口	自社	
ASP7713		低活動膀胱	P-I	経口	自社	

前回の決算発表時(2017年4月)からの変更点:

EB178(ソリフェナシン／ミラベグロン): 過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁に対する併用療法として、2017年6月に米国にて製造販売承認申請を行った。

免疫科学及び神経科学領域 (1/2)

*共同研究により創出された化合物を含む。

開発コード 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階/地域	剤形	自社*/導入	備考
FK949E クエチアピン	セロトニン・ドパミン拮抗剤	双極性障害におけるうつ症状の改善(徐放錠)	承認(2017年7月)/日本	経口	AstraZeneca	
FK506 タクロリムス	免疫抑制剤	臓器移植における拒絶反応の抑制(小児用顆粒製剤)	申請(2017年7月)/米国	経口	自社	剤形追加
ASP015K ペフィシチニブ	JAK阻害剤	関節リウマチ	P-III/日本、アジア P-II/米国、欧州	経口	自社	
ASKP1240 bleselumab	抗CD40モノクローナル抗体	生体腎移植患者における再発性巣状糸球体硬化症	P-II/米国	注射	協和発酵キリン	
ASP1707	GnRH受容体アンタゴニスト	関節リウマチ	P-II/日本	経口	自社	
ASP7962	TrkA阻害剤	変形性関節症	P-II/欧州	経口	自社	
ASP8062	GABA _B 受容体陽性アロステリック 修飾物質	線維筋痛症	P-II/米国	経口	自社	
ASP0819	カルシウム活性化カリウムチャネル 開口薬	線維筋痛症	P-II/米国	経口	自社	
ASP4070 (JRC2-LAMP-vax)	スギ花粉DNAワクチン	スギ花粉症	P-II/日本	注射	Immunomic Therapeutics	
ASP5094	抗alpha-9インテグリン モノクローナル抗体	関節リウマチ	P-II/日本	注射	自社	
ASP4345		統合失調症に伴う認知機能障害	P-I	経口	自社	
ASP0892		ピーナッツアレルギー	P-I	注射	Immunomic Therapeutics	
ASP1807 (CC8464)		神経障害性疼痛	P-I	経口	Chromocell	
ASP6981		統合失調症に伴う認知機能障害	P-I	経口	自社	

免疫科学及び神経科学領域(2/2)

前回の決算発表時(2017年4月)からの変更点:

FK949E(クエチアピン): 双極性障害におけるうつ症状の改善(徐放錠)で、2017年7月に日本で承認を取得した。

FK506(タクロリムス): 臓器移植における拒絶反応の抑制(小児用顆粒製剤)で、2017年7月に米国で製造販売承認申請を行った。

ASP3662: 戦略上の優先度等の総合的な判断により、Phase II 段階にあったアルツハイマー型認知症に伴う焦燥性興奮を対象疾患とした開発を中止した。

ASP5094: 関節リウマチを対象疾患とした開発がPhase I からPhase II に進展した。

ASP6981: 統合失調症に伴う認知機能障害を対象疾患とした開発を開始した。

ASP7266: Phase I 段階にあった重症喘息を対象疾患とした開発を中止した。

その他

*共同研究により創出された化合物を含む。

開発コード 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階/地域	剤形	自社*/導入	備考
AMG 785 ロモズマブ	抗スクレロシンモノクローナル抗体	骨折の危険性の高い骨粗鬆症	申請(2016年12月)/日本	注射	Amgen [アステラス・アム ジェンと共同開発]	
イブラグリフロジン/ シタグリプチン	イブラグリフロジンとシタグリプチンの 配合剤	2型糖尿病	申請(2017年5月)/日本	経口	自社 [MSD、寿製薬と 共同開発]	
ASP1941 イブラグリフロジン	SGLT2阻害剤	1型糖尿病	P-III/日本	経口	自社 [寿製薬と共同開 発]	効能追加
フィダキソマイシン	大環状抗菌剤	感染性腸炎(適応菌種:クロストリジウム・ディフィシル)	P-III/日本	経口	Merck	効能追加 (小児)
		小児におけるクロストリジウム・ディフィシル感染症	P-III/欧州			
ASP0456 リナクロチド	グアニル酸シクラーゼC受容体作動薬	慢性便秘症	P-III/日本	経口	Ironwood	効能追加
ASP0113 (VCL-CB01)	サイトメガロウイルスDNAワクチン	造血細胞移植時のサイトメガロウイルス感染抑制	P-III/米国、欧州、日本	注射	Vical	
ESN364 fezolinetant	NK3受容体拮抗薬	更年期に伴う血管運動神経症状	P-II/米国	経口	自社 (Ogeda)	
ASP1707	GnRH受容体アンタゴニスト	子宮内膜症	P-II/欧州、日本	経口	自社	
CK-2127107	速筋トロポニン活性化剤	脊髄性筋萎縮症	P-II/米国	経口	Cytokinetics	
		慢性閉塞性肺疾患	P-II/米国			
		筋萎縮性側索硬化症	P-II/米国			
ASP7317 RPE細胞プログラム	細胞治療(網膜色素上皮細胞)	萎縮型加齢黄斑変性、Stargardt病	P-II/米国	注射	自社 (Astellas Institute for Regenerative Medicine)	
MA-0211		デュシェンヌ型筋ジストロフィー	P-I	経口	Mitobridgeとの オプション契約	

前回の決算発表時(2017年4月)からの変更点:

イブラグリフロジン/シタグリプチン: 2型糖尿病に対するイブラグリフロジンとシタグリプチンの配合剤として、2017年5月に日本で製造承認申請を行った。

ESN364 (fezolinetant): 買収完了に伴い、パイプラインリストに追加した。

MA-0211: デュシェンヌ型筋ジストロフィーを対象疾患とした開発を開始した。